

医学研究科倫理審査委員会議事要旨

日 時：平成 24 年 11 月 28 日(水) 午後 3 時～午後 4 時 50 分

場 所：医学部非常勤講師控室

出 席：鈴木貞夫委員長、杉浦真弓副委員長、青木康博委員、新実彰男委員、藤井聡委員、向井晴史委員、安藤究委員

欠 席：村上信五委員、遠山竜也委員、薊隆文委員、平岡翠委員、金子義明委員

1 持ち回り委員会等結果（報告）

委員長より別紙のとおり、平成 24 年度第 3 回倫理審査委員会以降に、持ち回り委員会等により承認された研究課題の報告がなされた。

2 審議案件

(1) 受付番号：738

研究課題名：血液透析中の胃がん患者に対するイリノテカン及び活性代謝物 SN-38 の体内動態に関する検討

申 請 者：臨床薬剤学 教授 木村 和哲

①審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・ 1 人あたりの採血回数を含め、研究計画の再考が望ましい。
- ・ 研究計画書（様式不問）を添付すること。
- ・ 年齢、全身状態など、対象者を明確に記載すること。
- ・ 1 人あたりの全血液採取量を明確に記載すること。
- ・ P. 15（説明書）2「研究に参加した場合に予想される利益および不利益」の「予想される不利益」について、「貧血が進みやすくなる」との表現をより適切な表現に変更すること。

②結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

(2) 受付番号：750

研究課題名：成人 T 細胞性白血病/リンパ腫(ATL)における HTLV-1 (Human T-cell leukemia virus type-1) プロウイルス DNA の解析

申 請 者：臨床病態病理学 教授 稲垣 宏

①審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・ 前向き研究と後向き研究を明確に区別し、申請書の記載方法を全体的に見直すこと。

②結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

(3) 受付番号：755

研究課題名：介護支援ロボットによる介護動作の臨床的検証

申 請 者：共同研究教育センター リハビリテーション部 講師 水谷 潤

①審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・ P. 3 ③「最大補償金」を「最大賠償金」に変更すること。また加入者（理化学研究所）を明確に記載すること。

- ・ P.7 18「研究に係る資金源」について②に変更すること。
- ・ 説明書において、健常者での実験結果データを開示すること。

②結論

本件は保留とし、病院 IRB の判断により本委員会における該当、非該当を決定する。本委員会の該当案件であると判断された場合には、上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

【追記】後日、病院 IRB の該当案件と決定されたため、本委員会では非該当案件の扱いとする。

3 その他

(1) 倫理審査委員会への付議について

倫理指針に該当しない研究について、本委員会への付議など取扱いを明確にすることが今後の課題として確認された。

以上